

令和8年度 部活動活動方針

福井市至民中学校

ねらい

- 豊かな人間性の育成及び心身の発育・発達を図るとともに、礼儀・挨拶・マナーの向上を図る。
- 仲間とともに、目標に向かって懸命に努力する生徒を育成し、部活動で得た力を学校生活に活かす。

生徒の実態

運動経験の二極化が年々進んでおり、部活動地域展開により、その差がますます広がっていくことが懸念される。基本的な生活習慣や社会性、協調性など、今まで部活動で培ってきた豊かな人間性の育成も難しい部分がある。

学校や地域の実態

複数の部活動が毎年上位大会に出場している。運動部、文化部ともに熱心な活動を展開している。今年度から、学校に設置されている部活動と、地域のクラブ両方で活動している生徒もいる。

設置部活動

陸上部(男女)
ソフトテニス部(女子)
バレーボール部(男子・女子)
バドミントン部(男子・女子)
卓球部(男子・女子)
剣道部(男女)
吹奏楽部
美術部
科学情報部

指導力向上

職員会議などで顧問間の意思疎通を図る。
中体連や競技団体主催の研修に参加し、指導力の向上をめざす。

今後の課題

教職員の数に応じた適正な部活動数について協議する。
地域展開にあたり、来年度からの部活動に関して検討を進める。

活動方針

- 全教員がいずれかの部の顧問もしくは副顧問となる。また、必要に応じて部活動指導員や外部指導者を学校が要請し、連携して指導を行う。
- 活動には必ず顧問または副顧問がつき、指導及び安全管理を行う。会議等でどちらもつけない場合は、他の教員による共同管理を行う。
- 活動は、年間計画・月間計画に基づいて計画的に実施する。
- 5月下旬までに、各部で保護者を対象とした懇談会を実施し、活動方針、今後の計画等の確認を行う。

活動計画

- 年間を通じて、週あたり平日1日、土日に1日以上以上の休養日を確保することを原則とし、大会日程等を考慮しながら、土日、祝日において年間52日以上以上の休養日を確保する。
- 通常練習日の1日の活動時間は平日2時間程度、土日は3時間程度とし、効率的で効果的な活動を行う。

業務改善に向けた取り組み

- 毎月の活動計画や活動実績の確認等により、活動内容を把握し、教職員の負担が過度とにならないような持続可能な運営体制が整えられているかを是正を図る。
- 顧問のみが活動をサポートするのではなく、副顧問との交代制等も取り入れ、特定の教員に負担がかかることがないようにする。

保護者の願い

部活動に所属することにより、規則正しい生活習慣の確立を期待している。
技術や技能の向上とともに、社会性や協調性の育成を期待している。

地域の要望

地域行事に積極的に参加してきた過去の経緯から、納涼祭、至民マルシェ、敬老会などへの文化系部活動の参加を期待している。

部活動指導員・外部指導者との連携

部活動指導員の適材配置により、効果的な顧問の負担軽減や生徒の技能向上をめざす。

危機管理体制

練習時の事故等への対応については、本校の危機管理マニュアルに則し、迅速・適切に行う。

熱中症対策

高温多湿の環境条件を把握し、活動を中止したり、運動量の調整等を図ったりするなど、予防策を講じる。
部員のこまめな健康チェック、エアコン休憩室の活用、気温の低い時間帯の活動を徹底する。

体罰等の防止

いかなる理由においても、生徒の人格を傷つける言葉や体罰は許されないこと、個人の能力を無視した過剰な練習を強制しないこと、立場を利用したモラハラ・セクハラはしないことを徹底する。